



特定非営利活動法人

おもしろ科学たんけん工房

2003年4月1日発行

たんけん通信 第3号

## 一周年記念号

## 設立から満1年を迎えて

代表理事 安田光一

おもしろ科学たんけん工房が、NPO法人として成立したのが昨年2002年4月1日でした。ちょうど1年がたちました。その前の準備会を発足した2001年9月から数えれば、早いもので、もう一年半をこえました。

この間多くの方々の、ご厚意とご協力によって支えられ、今日までやって来られたことを心から感謝申し上げます。

## ◎ 場所探しに苦労

その中でも、私がかもっとも心配していたことが、おもしろ科学体験塾を実施する場所の問題でした。あちこちと公共的な施設や学校を当たってみました。なかなか見つかりません。

## ◎ 幸運に恵まれて

そんな中で、湘南台高校の教室を、お借りできたことは、私にとっては夢のような幸運でした。というのも、最初に準備会に集まってくれたボランティア仲間は、そのほとんどが藤沢市—それも小田急江の島線沿線に住んでいる人たち4人と、私を含む横浜市営地下鉄沿線の2人だったから、地理的にも湘南台は便利、その上湘南台科学お楽しみ広場を開催して、一躍藤沢市内で知名度を大いに上げた県立高校の教室を借りられるということですから、これ以上は絶対ありえないと思われるほど、すばらしいことでした。

## ◎ 欲張って戸塚でも

場所探しで私が推し進めたもう一つの候補は、戸塚駅に近い、<横浜女性フォーラム>でした。ここには「生活工房」と名付けられた、とてもユニークなフロアーがあり、調理・手工芸・木工・染色などに適した施設です。ここを是非ともおもしろ科学体験塾の第二の実施場所にしたいと強く思いました。幸い、生活工房の責任者の方には、われわれの目指す活動の意義を認めていただき、(財)横浜市女性協会の<市民活動・研究支援助成>制度に応募するように勧められました。

その選考の結果支援を受けられることとなり、7月から2003年3月まで、9回のワークショップを、「生活工房」で開くことができることになったのです。

## ◎ ボランティア仲間のサポートと財政支援

初年度から2ヶ所で展開することになり、果たしてやって行けるだろうか?とかえって心配の種を自ら増やしたようなものでしたが、こんな私を支えて頂いたのが、ボランティア仲間の皆さんの熱心なサポートでした。そして更に心強かったのは、ソニー株式会社からの寄付と、そのほかの資金支援を寄せてくださった多くの方々のご厚意です。

本当にありがとうございました。



写真説明：染色の科学—草木染に挑戦 アシスタントとして1月12日：短期大学の女子学生さんが来てくれました

「おもしろ科学たんけん工房」は下記の皆様の賛助とご支援、ご協力で成り立っています。

## ☆賛助会員の方々 (五十音順、敬称略)

かがやき会(高島輝)、川手宏美、川畑有郷  
塩田和希、関澤信衛、世良明、高橋悌二、  
竹内秀司、畑尾逸郎、葉山峻、松島賢一、  
若宮崇令 (11名、1法人)

## ☆寄付を頂いたの方々 (五十音順、敬称略)

(1昨年9月発足時から～今年2月末の期間)

秋山 矜一、秋山 直樹、飯田 剛雄、石田 雄一、石岡 忠夫、  
岩沢 佳子、大久保 利江、小野 哲夫、小野 順造、  
五島 研悟、桜井 昭信、菅原 健二、菅谷 一郎、菅沼 恵子、  
ソニー株式会社、長谷川 健二、濱田 靖一、林 松生、  
星澤 信郎、宮武 和也、向野 暢彦、矢田 健爾、山中 俊作  
(22名、1法人)

## ☆サポーターとしてご協力頂いているの方々

岩沢佳子、大久保利江、小川博嗣、小野哲夫、小守孝、  
鈴木節雄、藤島徹、須藤幸一 (8名)

## ☆正会員として運営に参加しているメンバー

相川 正光、浅井 多喜子、石橋 輝夫、岩瀬 宏一  
小原 勉、川口 浩一、菊池 誠、木下 和久  
木村 卓雄、郷 勝哉、柴田 憲男、下 孝一  
菅沼 良策、高田 明彦、高橋 五郎、福田 光和、  
松本 公成、三澤 昭、宮治 資雄、宮地 俊作、  
村田 和代、村田 晴雄、森島 章伍、安田 光一、  
安田 舜二、山田 敏之、弓手 康史 (27名)

## ☆その他ご協力頂いているの方々

五島 研悟(講師)、杉下 ゆうき(アドバイザー)、  
高山 義則(科学少年団)、山本明利(湘南台高校教員)  
坂間 泰一(ビデオ収録)、下山洋子(横浜女性フォーラム)

おもしろ科学塾のために、場所の提供を頂いた湘南台高校の白石校長先生と横浜女性フォーラムの下山さんのお二方から以下のようなコメントを頂きました。

\*\*\*\*\*

◇ 湘南台高校 校長 白石 明 夫

\*\*\*\*\*

NPO法人「おもしろ科学たんけん工房」設立1周年おめでとうございます。

教育改革の流れの中で、市民との連携、地域に開かれた学校をめざす本校が、地域公開行事「湘南台・科学お楽しみ広場」を初めて企画した一昨年秋、当時設立準備中だった「おもしろ科学たんけん工房」さんがさっそく名乗りをあげてくださったことを思い出します。それがご縁で、小中学生を対象に体験学習の場を毎月継続的に作りたいというお申し入れに対し、そのような目的なら是非とも湘南台高校の教室を使って頂きたいと、喜んで教室をお貸しすることにしました。

本校を会場とする親子塾の取り組みも軌道に乗り、順調に回を重ねておられることを喜ばしく思います。本校主催の「湘南台・科学お楽しみ広場」も2回目を好評のうちに終えることができました。昨年またボランティアでご協力いただいたことに心から感謝いたします。これらの地道な取り組みが、子供達の心をつかみ、いつの日かきっと大きな実を結ぶものと信じます。

理科教育では単に知識を教え込むだけの授業では不十分で、実験・観察などの実体験を取り入れて、児童・生徒の興味と好奇心を引き出すような工夫が大切だと考えています。特に、好奇心の旺盛な小中学校の時分から興味を喚起し、その継続をはかることがことに重要です。その意味で、これからは高等学校も地域社会と密接にかかわり、市民の方々と交流する中で教育の連携をはかっていかなければならないと考えています。

理科ばなれが心配されている昨今、地域に理科好きな子どもを育てる機会を増やすためにも、「おもしろ科学たんけん工房」の皆さんの一層のご活躍を期待しています。本校

横浜市女性協会との共催になります。

戸塚 横浜女性フォーラムで行なう

2003年度 おもしろ科学体験塾

おもしろ科学たんけん工房では、横浜市女性協会の支援・助成事業として、横浜女性フォーラムで「おもしろ理科・工作塾」を9回実施してきましたが、来年度は同協会との共催の形で実施することが決まりました。第1回(2002年度からの通算で第10回目)は、5月25日(日)の開催になります。テーマは「砂糖水で光がまがる?」です。引き続き多くの子どもたちと保護者のみなさまのご参加をお待ちしております。

◇ 横浜女性フォーラム

生活工房担当 下山 洋子

NPO法人「おもしろ科学たんけん工房」の設立1周年おめでとうございます。

昨年からは横浜女性フォーラムで実施している「おもしろ理科工作塾」も、この3月で9回を数えます。この企画は、「おもしろ科学たんけん工房」がフォーラムの「市民活動研究助成事業」の助成対象となったことから始まりました。この間の皆さんの熱意あるご活動により順調に回を重ねておられることに、心から敬意を表したいと思います。

横浜女性フォーラムは戸塚駅近くにあり、今年9月に開館15周年を迎える横浜市の市民利用施設です。横浜市の条例の中では「男女共同参画を進めるための拠点施設」と位置付けられており、年間を通して男女共同参画のためのさまざまな講座・セミナー等を実施しています。フォーラムが独自に企画する講座とあわせ、市民の皆さんと連携をとりながらともに事業を進めていくことが、これからはますます必要になってくることと思います。

男女共同参画社会とは、女性も男性も自分の個性や能力を生かし、互いを尊重しながらいきいきと生きていける社会です。女の子も男の子も自分の興味を大切に成長してほしいと思います。地域に理科好きな子どもを育てることが、特に理科が苦手と思いがちな女の子にとっては将来の選択肢を広げることにつながるかもしれません。また、熱心に地域活動に取り組みされている男性たちの姿は、男は仕事、女は家庭と地域という旧来の役割意識を超え、男の子たちにとって新しいお手本となることでしょう。

この5月からは「おもしろ科学たんけん工房」との連携を一歩すすめて、年10回の「おもしろ科学体験塾 in 戸塚」を開催するほか、8月には「ボランティアインストラクター研修」を共催します。企画内容のよさはもちろんですが、しっかりとした組織運営で着実に活動を広げておられる皆さんとともに事業を行うことができるのはフォーラムにとって有り難いことです。

今後のますますのご発展をお祈りします。



写真は、H14年5月 ふしぎ発見塾 第2回 湘南台高校生物室で。 指導員は小野哲夫さん

この欄では、スタッフのプロフィールを紹介してゆきます。今回はその第2回 石橋さんと岩瀬さんです。

プロフィール 石橋輝夫さん

Q 生まれた年と、簡単な略歴を教えてください。

●A 1938年生まれ。大学では電気を学ぶが、土木建設関係の機械メーカーに就職。その後工業用化学薬品(排水処理剤、製紙用薬剤)メーカーに転職、工場設備担当、工場管理を経て総務部長を務め、最後に土木工用化学品の企画開発に従事。定年で退職。

Q たんけん工房に参加するようになったいきさつと、動機を簡単に説明してください。

●A 高校の部活OB会で郷、相川両先輩と会い、この組織を知り参加させていただいた。

Q たんけん工房でやってみたいことはどんなことですか 具体的なテーマでも、夢のイメージでも。

●A 昔、小学生の時に学校の近くの電気屋に立ち寄って、店主からいろいろ教わったことが今につながっていると思うので、子供達にもそういう機会を与えたいとかねて思っていた。出会った子供が進学したり、就職するときの手伝いまで出来れば、と考えている。

Q 趣味・道楽は？  
A ① 海浜からの投げ釣り。  
② プロ野球、NFL(アメフト)のテレビ観戦。日本のプロ野球ではセ・リーグは国鉄時代からのスワローズファン、パ・リーグでは東映フライヤーズ時代から現在のファイターズ。NFLではステイラーズ。  
③ 料理。週に5〜6回は厨房に立つ。なぜなら自分の食べたい味に仕上げられるから。それと自慢出来るのは40年以上我が家のマヨネーズ作りを続けていること。  
Q 子どもたちには是非すすめたいことは？  
A 何にでも挑戦し、自分で作って確かめてみる。数字に親しみよう。



写真左

湘南台高校生物教室で牛乳パックで紙スキの指導をする石橋さん

プロフィール 岩瀬宏一さん

Q 生まれた年と、簡単な略歴を教えてください。

●A 1940年生まれ。大学を卒業後、(株)山武に新卒として入社、定年まで38年間技術、品質保証、マーケティングと職場は変わりましたが一貫して燃焼安全制御に従事しました。

Q たんけん工房に参加するようになったいきさつと、動機を簡単に説明してください。

●A 合唱仲間の柴田さんに誘われ、少しでもお役に立てばと思い参加しました。

Q たんけん工房でやってみたいことはどんなことですか 具体的なテーマでも、夢のイメージでも。

●A 具体的なテーマはまだ考えていませんが、宇宙の仕組みについて取り組んでみたいですね。



写真上

横浜女性フォーラムで紙じり工作の指導をする岩瀬さん

Q 趣味や道楽は？

A 合唱です。いま混声合唱団と男声合唱団に所属しています。

Q 子どもたちにぜひすすめたいことはありますか？

A 先ず、なにかひとつ疑問を持つこと。なぜかなんかきえるよ、きくと頭が良くなると思います。

ホームページから、[おもしろ科学体験塾]に申込みできます

# 参加児童・生徒の声

## 保護者の声

茅ヶ崎から来てくれる飯田翔馬君の手紙

いつも勉強での実けんんのわからないところを、やさしく先生たちが教えてくれて、そのせつ明をしてくれたり、よく見てくれるので安心の場所で、おちつきます。  
家ではできない実けんも、その楽しい学校で教えてくれます。また楽しい実けんをやらせてください。

飯田翔馬(いいたしろうま)

松林小 4年

## 矢口晴夫さまに感想を伺いました。

(富士見台小 4年 矢口皓之くんのお父さん)

このような理科の体験学習は、学校では機会がすくないので、このおもしろ科学たんけん工房の塾はとても貴重な体験になっています。家庭でやれることは限られているから、ぜひ、この試みを続けて欲しいと思います。子どももたのしみにしており、ときには家に持ち帰って、家でも時々いじっているようです。内容としては、これまでも、いろいろなテーマでやっていたと思いますが、これからも多方面の題材でやっていただけたらとよいです。

ほとんど毎回参加の城塚正平君のお父様から感想文を頂きました。

## ■■■ 感想文 ■■■ 城塚 正治

これまでに何度となく「おもしろ理科・工作塾」に小学5学年の息子と一緒に参加させていただいています。子供たちの理科離れ現象が社会問題として認識されて久しいですが、ボランティアベースで開催されるこの教室は、「この理科離れの一因、「理科・数学の面白さを教わっていないから」に真正面から取り組んだものだと思います。

本教室に参加する前は、私自身仕事で技術者をやっている関係上、教室で出される教材・題材なんて大した物じゃないだろう?、と侮っていました。ところが出てみると、企画されておられるボランティアの方々の創意・工夫が素晴らしく、親自身が驚かされ、また感心させられることが多々ありました。付き添いの親は教室の端っこの方で参観するだけですが、しかし、このような時は親自身が実験に参加したくなります。

そういうわけで本教室のリピーターとなりました。

もし、いまの子供たちがゲームに向けている時間・集中力を学校の勉強そのもの、とまではいなくても、何か自分で考え工夫することへ向けられたならば、どんなにかすばらしいでしょう。

物があまりにもブラックボックス化された現在、子供の姿を見ながら夢想する親です。

### アンケートに寄せられた子どもたちの声から

(子どもたちと参観した保護者の方々に、毎回アンケートをお願いしています)

#### 竹とんぼを作って飛ばそう(10月20日):

- ・ 僕は今日はじめて作りました。思ったより大変でした。ナイフを使う時はとても緊張した。なれば簡単だったけど最初説明をきいたときはこわかった。出来てもじくがとれて大変だった。飛ばすのはむずかしかったけどすぐ出来た。竹とんぼ作りの皆さんありがとう。

#### 紙ヒコーキを作って飛ばそう(10月19日):

- ・ 飛行機をつくっておもしろかった。
- ・ とても楽しかった。また来たいです。
- ・ とてもおもしろかったです。
- ・ おじさんが飛行機をつくりかたをやさしく教えてくれたからすごくうれしかった。

#### タコ坊主と海坊主の浮き沈み(5月18日)

- ・ たこポーズ、いかポーズがしずんだ事が楽しかった。
- ・ 海ポーズが砂にうまらなかつたけど楽しかった。
- ・ 海ぼーずがでてくることがおもしろかった。またプーメランをやる時また来ます。

#### セミのぬけがら調査(7月27日)

- ・ とつてもたのしかったので、またやってみたいです。クマゼミをもら

#### えてうれしい

- ・ アブラとミンミンのしょっかくの見わけかたがわかった
- ・ ぬけがらはすぐおくぶかいな一と思いました。
- ・ セミのぬけがらをすぐいっぱいおいて たのしかつた牛乳パックで紙スキ(12月14日)
- ・ とても楽しくてこんどまた来たいです。
- ・ 学校とちがつておもしろい。
- ・ とてもおもしろくて、紙を作るやり方がよくわかったです。
- ・ 2年生でやったときと少しちがうやり方だと思った。
- 電気と磁しゃくのふしぎーモーター作り(7月20日)
- ・ 今日の実験をやつて、とてもたのしかつた。またやりたい
- ・ 理科と工作が大すきだつたから さんかしてみたらたのしかつた。おもしろかつた
- ・ この理科のおもしろ科学たんけんにまたでたいと思つた
- いろいろな電池を作つてみよう(8月3日)
- ・ レモンで電池を作るのがおもしろかつた。
- ・ ちょっとびっくりした。こんなに楽しくておもしろいとは思わなかつた。